

[View this email in your browser](#)

KeMCo

Keio

Museum

Commons

慶應義塾ミュージアム・コモンズ（KeMCo）です。
グランドオープンまであと半年ほどとなり、KeMCoではこれから様々な情報を発信していく予定です。ニュースメール以外にも[Facebook](#)や[Twitter](#)、[Instagram](#)などのSNSなども引き続き活用してまいりますので、そちらも是非チェックしてみてください！

KeMCoの近況

オンライン展覧会「Keio Exhibition RoomX: 人間交際」準備中



慶應義塾が所蔵する美術、考古学、歴史、貴重書などさまざまなコレクションから、「人間交際」というテーマに接続する作品が出品される展覧会を準備中です。この展覧会は、オンラインにだけ存在する一風変わった「部屋」で開催されます。部屋のオープンは10月26日（月）です。お楽しみに！

オンライン展覧会「Keio Exhibition RoomX: 人間交際」

慶應義塾大学東別館竣工



9月18日（金）、KeMCoの活動拠点となる慶應義塾大学東別館が竣工しました。東別館には、展示フロア、収蔵庫、実習室、クリエイション・スタジオ「KeMCo Studi/O ケムコ・スタジオ」が備えられています。竣工にともない、10月26日（月）から30日（金）までKeMCoのプレビューイベントを開催します。プレビューイベントの詳細については、ウェブサイトで最新情報をお知らせします。

大山エンリコイサムにアート・ワークをコミッション

先進的なクリエイション・スタジオ「KeMCo Studi/O」に、大山エンリコイサム氏によるコミッション・ワーク「FFIGURATI #314」「FFIGURATI #316」を設置します。慶應義塾の卒業生でもある大山エンリコイサム氏は、ストリート・アートから出発した独自のモチーフ「クイックターン・ストラクチャー」を起点にメディアを横断し表現する美術家です。大山氏の関心と、デジタルとアナログを架橋するKeMCoのコンセプトが重なり合ったことから、KeMCoのシンボルとなる作品の制作をお引き受けいただきました。施設の竣工にともない、9月25日（金）から現地での制作が開始されています。完成したアート・ワークは、KeMCoプレビューイベントで公開されます。

大山エンリコイサムにアート・ワークをコミッション

Open Studi/O! #01

東別館8Fに位置するKeMCo Studi/O（ケムコ・スタジオ）は、様々なかたちの「ファブリケーション=ものづくり」を実践していくクリエイション・スタジオです。Studi/OのIは「Input」、Oは「Output」を表し、義塾のみならず、国内外に点在する有形・無形の文化財をInput/Output（入出力）していく場となります。

スタジオには、アナログ/デジタルの多様な工作機能（e.g., 電子工作機器、3Dスキャナー・プリンター、etc.）が備わり、KeMCo来館者をはじめ、塾生や研究者、ひいては地域住民が「ミュージアムにおける展示・収蔵の実践と間近に接しながら、デジタル・オブジェクトと実作品の関係を体験を通じて学び、メディア横断的な創造を展開」[1]していきます。

現在、プレビューイベントでのお披露目に向けて鋭意設営中ですが、9月25日（金）～は、美術家の大山エンリコイサム氏によるコミッション・ワークが始まりました。スタジオのシンボルともなる本作品、全貌はこれから発表となりますが、ここで特別に、大山氏の制作風景を動画でお届けします。
[以下のサムネイルをクリックいただくと、動画（40秒）をご覧ください](#)



KeMCo Studi/O: 大山エンリコイサム氏によるコミッション・ワーク

ほんの一部、撮って出しとなりますが、いかがでしたでしょうか。まもなく全貌の発表・公開となりますので、これから続々と「Open」していくKeMCo Studi/Oにどうぞご期待ください。

宮北剛己（KeMCo特任助教）

[1] <https://kemco.keio.ac.jp/wp/wp-content/uploads/2020/09/FFIGURATI-press.pdf> より抜粋

空き地

KeMCo兼任所員 長谷川 崇徳

前号のKeMCo Voiceで外観をお伝えしましたKeMCoの活動拠点となる建物がついに竣工しました。最終的な設置や内装は引き続き作業が行われていますが、これまでコンセプトとして議論されてきたもの、図面上でみていたもの、パーツで選ばれてきたものたちが集まり、展示室やスタジオとして現実空間に立ち上がってくる様はやはり圧巻です。

と同時に！建物が完成したことで、各チームで進めてきたさまざまなプロジェクトも、公開に向けてより具体的に動き出しています！KeMCoの活動全般がリアリティをもって迫ってきたぞと日々感じています。

発信間近のプロジェクトのひとつが『慶應義塾名品撰』の刊行です。編集チームは夏から秋にかけて怒涛の作業でしたが、デザイナーさん・編集者さん・そしてさまざまに関わってくださった方々のお力で、大変素敵な仕上がりになりそうで、大いに楽しみにしております。10月中に刊行の運びですので、皆さまぜひお氣にかけていただけたら嬉しいです。

お知らせ

KeMCo事務室の開室時間

学内施設の段階的な使用開始に伴い、当分の間、水曜日、木曜日に開室いたします。

> 詳細は[こちら](#)

KeMCo Voiceでは皆様のご意見・ご感想を募集しております

KeMCo Voiceやミュージアム・コモンズへご意見・ご感想がございましたら、以下のアドレスまでお寄せいただければ幸いです。
いただきましたご意見は匿名でご紹介させていただく場合がございます。紹介をご希望でない場合はその旨をお書き添え下さい。

> ご意見・ご感想は[こちら](#)

次回のKeMCo Voiceは2020年12月に配信予定です。
[過去のニュースメールはこちら](#)



Copyright © 2019-2020 慶應義塾ミュージアム・コモンズ Keio Museum Commons

〒108-8345 東京都港区三田2-15-45

Tel: 03-5427-2021 Fax: 03-5427-2022
[お問い合わせ](#)

[KeMCo Voiceの配信停止をご希望の方はこちら](#)

